

2019年1月15日
(1/2)

マレーシアで新型コンパクトSUV「アルズ」を発売



ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）の、マレーシアにおける自動車生産・販売の現地合弁会社であるプロドゥア（セランゴール州）は、国民車「アルズ（ARUZ）^{*1}」を1月15日に新発売した。

プロドゥアは、マレーシア第二の国民車メーカーとして、小型車を中心にラインナップを充実させており、新発売した「アルズ」は、同社の「アジア」「ベザ」「マイヴィ」に続くプロドゥア構造改革第4弾の商品であり、コンパクトスタイリッシュSUV^{*2}となる。世界的にSUV人気が高まりつつある中、マレーシア市場でも同様のニーズが高まっている事を背景として、国民車メーカーであるプロドゥアがマレーシア市場の多くのユーザーにお手ごろな価格のSUVをお届けすべく新開発した。

ベース車両は、2017年11月にインドネシアでフルモデルチェンジしたコンパクトSUV「テリオス」となるが、内外装デザインや室内のユーティリティ装備などはマレーシア市場のニーズを反映し、マレーシアのユーザーに最適なモデルとした。また、マイヴィで採用した衝突回避支援システム「スマートアシスト（現地名：Advanced Safety Assist）」を、より進化させ採用することで、「先進技術をみんなのものに」を掲げるダイハツグループとして、マレーシアでも先進の安全・安心装備普及に向けた取り組みを加速させる。

「アルズ」は、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）にも「ラッシュ」¹としてOEM供給を実施しており、プロドゥアとしては初めてのトヨタ向けOEM供給となる。

ダイハツは今後も日本の軽自動車で培った技術やノウハウを生かしたクルマづくりを推進し、アセアン地域での自動車の普及および産業、人材育成に貢献する。

^{*1}：マレー語で「(水の)流れ、(時代の)流れ」を表す言葉「Arus」から、SUVトレンド(時代の流れ)を押さえ、水の流れのような「滑らかさと力強さ」を併せ持つ、国民車を代表するスタイリッシュSUVへの願いを込めた造語

^{*2}：Sport Utility Vehicle の略

【主な特長】

1. デザイン性 : マレーシア市場のニーズを取り入れたスポーティなデザイン
2. パッケージ : 7人乗車に加え、荷物の積載も可能な広い室内空間
3. 安全性能 : 進化した衝突回避支援システム「スマートアシスト(Advanced Safety Assist、現地名)」を採用※3
4. 環境性能 : アイドリングストップ機能の採用などにより、マレーシアのエコカー政策であるEEV政策に適合する高い燃費性能
5. 経済性 : お求めやすい価格
6. 品質 : ダイハツの生産コンセプト「SSC (シンプル・スリム・コンパクト)」を取り入れ、グローバルレベルの工場改革を推進中の「PMSB」生産により、高い品質を確保

※3 : 一部グレードに設定。

【主要諸元】

駆動方式	FR (Front engine, Rear wheel drive)
エンジン	2NR-VE (1.5L(1,496cc))
トランスミッション	4AT
乗員定員 (名)	7
全長×全幅×全高 (mm)	4,435 x 1,695 x 1,740

【目標販売台数】

2,500 台/月

【生産工場】

車両生産工場 : PMSB (プロドゥア・マニユファクチャリング)

エンジン生産工場 : DPEM (ダイハツ・プロドゥア・エンジン・マニユファクチャリング)

以 上